

## 29年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 9月1日～ 29年9月11日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
9月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目については以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		29/9月	10月	11月
入荷動向	スギ	25.0	0.0	0.0
	ヒノキ	12.5	0.0	0.0
	カラマツ	16.7	10.0	20.0
	トドマツ	16.7	0.0	16.7
消費動向	スギ	25.0	10.0	0.0
	ヒノキ	12.5	0.0	0.0
	カラマツ	16.7	10.0	10.0
	トドマツ	0.0	16.7	0.0
在庫動向	スギ	8.3	0.0	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	8.3	△ 10.0	△ 10.0
	トドマツ	0.0	0.0	16.7

・国産原木の入荷動向はスギ、ヒノキとも9月の増加から10月、11月は横ばいに。カラマツは3カ月連続増加。トドマツは9月の増加から10月は横ばい、11月は再び増加に。

・消費動向はスギは9月、10月の増加から11月は横ばいに。ヒノキは9月の増加から10月、11月は横ばいに。カラマツは3カ月連続増加。トドマツは9月の横ばいから10月は増加、11月は再び横ばいに。

・スギの在庫動向は9月の増加から10月、11月は横ばいに。ヒノキは3カ月連続横ばい推移。カラマツは9月の増加から10月、11月は減少に。トドマツは9月、10月の横ばいから11月は増加に。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/9月	10月	11月
スギ	8.3	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	30.0	20.0	20.0
米マツ	50.0	50.0	50.0
北洋カラマツ	50.0	50.0	50.0
その他	0.0	0.0	0.0

・合板用原木の購入価格動向はスギ、ヒノキとも保合い。カラマツはやや強含み。

・外材は米マツ、北洋カラマツとも強保合い。

・その他の品目は保合い。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

・入荷、消費とも8月は盆休みで減少したが、9月は通常に戻った。在庫は、生産量に合わせの入荷で横ばい。

・生産、消費量が増えるため入荷も増やす予定。生産量増に伴い消費量も増加。在庫水準は変えない予定。

・入荷動向は、カラマツ増産及び冬場対策として増量。カラマツ増産に付き消費増。冬場対策向けで少しずつ在庫を増やす。

・8月にスギ材の入荷を増やしたものの9月は調整。計画通りで入荷、消費。在庫はほぼ横ばい。

・入荷量は在庫が減らないようにキープする。生産が順調なため9月～11月は横ばいで推移。在庫はキー

## (原木価格)

・スギ、カラマツとも原木の購入価格は横ばい。

・外材は現地在庫水準で強含み傾向が年明けまで続く見込み。

・カラマツは先月から値上げ。ロシア材は強気のまま。

・購入価格は高止まり。一部値下げ検討。

・例年、9月以降価格が上昇してくる。市況を見ながら対応していく。

・国産カラマツが上昇中。米・加材も上昇、今後はさらに上昇か。

## 29年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		29/9月	10月	11月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	28.6	16.7	16.7
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	21.4	8.3	8.3
	〃 (28mm)	7.1	8.3	8.3
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	28.6	16.7	16.7
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	21.4	8.3	8.3
	〃 (28mm)	14.3	8.3	8.3
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 7.1	△ 8.3	△ 8.3
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 7.1	△ 8.3	△ 8.3
	〃 (28mm)	△ 7.1	△ 8.3	△ 8.3

- ・生産、出荷動向は12、24、28mmとも3カ月連続増加。9、15mmは3カ月連続横ばい推移。
- ・在庫動向は12、24、28mmとも3カ月連続減少。9、15mmは3カ月連続横ばい推移。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/9月	10月	11月
構造用(9mm)	33.3	0.0	0.0
〃 (12mm)	35.7	8.3	0.0
〃 (15mm)	35.7	0.0	0.0
〃 (24mm)	35.7	16.7	0.0
〃 (28mm)	28.6	16.7	0.0

- ・構造用合板の出荷価格動向は、9月は値上げや値上げ提示により全ての品目で強含み。

## モニターからのコメント

## (構造用合板の荷動き)

- ・生産予定では全品目横ばいだが、品目により減るものがある。生産した品物は出荷する予定。在庫は全品目品薄の状態。
- ・12mmの生産及び全体の生産量を増やす計画。出荷は全体的に堅調で12mmも受注が増えている。在庫は、年内はあまり増えないと考えている。
- ・生産・出荷・在庫動向ともに少量生産に付き変化なし。
- ・生産・出荷とも計画通り。在庫はほぼ横ばいだが、連休月に付き多少変動。
- ・生産はフル稼働で順調に推移。稼働日は先月より多くなる。12mmネダノンの引き合いは変わらず強い状態が続いている。特にネダノンメーターサイズは不足傾向にある。在庫は引き続き低水準のまま推移する。
- ・12mm引き合い多く生産増。出荷はルート系から1の2mmが多く、厚物はプレカットから引き合い増。在庫は各品目厚み増えず。

## (構造用合板の価格)

- ・全品目9月から値上げにより上昇。
- ・9月出荷分より値上げ提示している。
- ・今のところ変化なしも様子を見ながら値上げを検討。
- ・9月より原材料高に伴い一部上昇。
- ・運賃、原木代、副資材等のコスト上昇に伴い、9月より価格を改定(値上げ)を実施。
- ・9月より新値。さらに原料関係の上昇になればコストアップにより上昇傾向。